

中国文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
中国文学概論	中国古典詩歌文学に関する基礎知識	2	矢田 尚子	3	木	1	1
中国文学概論	中国の小説と戯曲	2	土屋 育子	4	木	1	2
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	土屋 育子	3	水	4	3
中国文学基礎講読	現代文読解による中国語実用文法研究	2	矢田 尚子	4	水	4	4
中国語基礎演習	初級中国語	2	馬 曉地	3	月	5	5
中国語基礎演習	初級中国語	2	馬 曉地	4	月	5	6
中国文学各論	中国古典小説の展開と受容	2	土屋 育子	5	火	4	7
中国文学各論	『韓詩外伝』を読む	2	矢田 尚子	6	火	4	8
中国文学各論	漢籍書誌学入門	2	上原 究一	集中(5)			9
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	5	水	3	10
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	5	金	2	11
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	6	水	3	12
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	6	金	2	13

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LB34101, **科目ナンバリング：**LHM-LIT202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

中国古典詩歌文学に関する基礎知識

2. Course Title (授業題目)：

History and development of Classical Chinese poetry

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国の先秦時代から唐代に到るまでの古典詩について、理解を深める。
2. いわゆる「漢文」の構造、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえる。

【概要】

中国文学の中でも、特に先秦から唐代までの古典詩歌文学に焦点を絞り、時代・ジャンルごとに重要事項について学習する。実際に代表的な作品を実際に読み、その内容を理解する。

4. 学習の到達目標：

- ・中国古典詩歌文学に関する基礎知識を身につける。
- ・中国古典詩歌のジャンルや修辞等の歴史的変遷について理解できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. 『詩経』（1）
3. 『詩経』（2）
4. 『楚辞』
5. 漢代の辞賦
6. 漢代の詩
7. 魏晉の詩（1）
8. 魏晉の詩（2）
9. 南北朝の詩（1）
10. 南北朝の詩（2）
11. 初唐の詩
12. 盛唐の詩（1）
13. 盛唐の詩（2）
14. 中唐の詩
15. 晩唐の詩

6. 成績評価方法：

授業中の応答等、授業参加態度（50%）

筆記試験(50%)

7. 教科書および参考書：

教科書は、プリント配布による。

参考書は、授業中に適宜紹介する。

8. 授業時間外学習：

授業中に示した参考文献に目を通し、授業で得た知識を補い、作品をより深く広く理解する力をつけること。

9. その他：なし

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 1 講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB44101, **科目ナンバリング：**LHM-LIT202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

中国の小説と戯曲

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Novel and Drama

3. 授業の目的と概要：

中国の小説・戯曲は、伝統詩文との関わりを保ちつつ、豊かな発展を遂げてきました。本講義では、「小説」と戯曲の起源を理解し、歴史的社会的背景をもとに中国の小説・戯曲がどのように発展してきたのかを、原文資料をもとに学びます。授業を通して、受講者の中国の小説と戯曲に対する基礎知識の再確認と理解を深めることを主たる目的とします。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国文学史（小説・戯曲）について知識を深める。
- (2) 中国の小説・戯曲の特徴を、多角的に考察し、自分の言葉でまとめられる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

作品の成立までの背景、作者、概要を説明し、原文と現代日本語訳を用いて作品を鑑賞します。

- 第一回 ガイダンス・志怪小説
- 第二回 唐代伝奇
- 第三回 宋から元への展開と明代短編小説
- 第四回 短編小説の発展
- 第五回 演劇史（1）
- 第六回 演劇史（2）
- 第七回 演劇史（3）
- 第八回 『三国志演義』（1）
- 第九回 『三国志演義』（2）
- 第十回 『水滸伝』（1）
- 第十一回 『水滸伝』（2）
- 第十二回 『西遊記』（1）
- 第十三回 『西遊記』（2）
- 第十四回 『金瓶梅』
- 第十五回 まとめ

6. 成績評価方法：

- 授業への取り組み（毎回のミニットペーパーも含む）：50%
- レポート：50%（レポート課題は講義の最終回に指示）

7. 教科書および参考書：

テキスト：プリント配布

参考書：授業中に紹介

8. 授業時間外学習：

授業中に紹介する参考書等を積極的に読み、講義内容の理解の参考にしてください。

9. その他：なし

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB33404, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Grammar

3. 授業の目的と概要：

本講義は、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。

(中国語を未履修の方は、事前にご相談ください。)

なおこの授業は、講読演習を兼ねています。

4. 学習の到達目標：

(1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。

(2) 基礎的な作文能力をつける。

(3) 基礎的な読解力を確実なものとする。

(4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 ガイダンス

第二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (1)

第三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (2)

第四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (3)

第五回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (4)

第六回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (5)

第七回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (6)

第八回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (7)

第九回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (8)

第十回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (9)

第十一回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (10)

第十二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (11)

第十三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (12)

第十四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (13)

第十五回 期末試験

6. 成績評価方法：

授業への取り組み、出席：50%

期末試験：50%

7. 教科書および参考書：

教科書については、初回に指示します。

辞書は、小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などを用意してください。

8. 授業時間外学習：

毎回、辞書を用いた予習・復習を求めます。

9. その他：なし

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB43402, **科目ナンバリング：**LHM-LIT213J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

現代文読解による中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目)：

Study of Chinese Grammar through reading Chinese Contemporary Prose

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国語学習歴1年以上の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力・運用能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、理解を深めるとともに、発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

4. 学習の到達目標：

- ①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。
- ②現代中国語の文法についての知識を習得し、文章の文構造を把握できる。
- ③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 中国現代文読解 (1)
3. 中国現代文読解 (2)
4. 中国現代文読解 (3)
5. 中国現代文読解 (4)
6. 中国現代文読解 (5)
7. 中国現代文読解 (6)
8. 中国現代文読解 (7)
9. 中国現代文読解 (8)
10. 中国現代文読解 (9)
11. 中国現代文読解 (10)
12. 中国現代文読解 (11)
13. 中国現代文読解 (12)
14. 中国現代文読解 (13)
15. 中国現代文読解 (14)

6. 成績評価方法：

授業参加態度 (発音・翻訳・応答などを含む) 50%、筆記試験 50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：単語の発音を調べ、文構造や文法事項に留意しながら試訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造や文法事項を正しく理解できるようにする。

9. その他：なし

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB31503, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

初級中国語

2. Course Title (授業題目)：

Primary Chinese

3. 授業の目的と概要：

発音練習を中心として授業を進める。繰り返し発音練習をすると同時に基本的な文法をも勉強する。一年の授業を通して中国語の学習の基礎を身につける。

4. 学習の到達目標：

汉语拼音(中国語の音標としてのローマ字)を見て、すぐに自分の口から正しく発音することが出来るのはこの授業の最大の目標である。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 四声の練習
- 第2回 子音の練習
- 第3回 母音の練習
- 第4回 同上
- 第5回 名前の訪ね方
- 第6回 形容詞述語文
- 第7回 同上
- 第8回 同上
- 第9回 動詞述語文
- 第10回 同上
- 第11回 同上
- 第12回 同上
- 第13回 同上
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

出席 (50%) 朗読試験 (50%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：馬 曉地 (准教授)

講義コード：LB41501, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

初級中国語

2. Course Title (授業題目)：

Primary Chinese

3. 授業の目的と概要：

発音練習を中心として授業を進める。繰り返し発音練習をすると同時に基本的な文法をも勉強する。一年の授業を通して中国語の学習の基礎を身につける。

4. 学習の到達目標：

汉语拼音(中国語の音標としてのローマ字)を見て、すぐに自分の口から正しく発音することが出来るのはこの授業の最大の目標である。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 四声の練習
- 第2回 子音の練習
- 第3回 母音の練習
- 第4回 量詞について
- 第5回 同上
- 第6回 助詞について
- 第7回 同上
- 第8回 副詞について
- 第9回 同上
- 第10回 補語について
- 第11回 使役文
- 第12回 同上
- 第13回 受身の表現
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

出席 (50%) 朗読試験 (50%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5, **単位数：**2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB52401, **科目ナンバリング：**LHM-LIT303J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

中国古典小説の展開と受容

2. Course Title (授業題目)：

A study of Chinese classic novel

3. 授業の目的と概要：

【目的】

中国古典小説には、古い由来を持つ故事を淵源とし、時代が進むにつれて変化を遂げ、広く受容されてきた作品が少なからず存在する。そこで本授業では、元になった故事と後世の作品との比較を行い、次の3点を目的として進める。

- (1) 物語が成立する過程について理解を深める。
- (2) 広い視野で考察し、考察した内容をまとめ、表現できるようにする。
- (3) 中国古典文の様々な文体に慣れ、読解力を向上させる。

【概要】

本授業では、前半に王昭君故事、後半に唐代伝奇「杜子春伝」を取り上げる。それぞれの作品のもとになった故事と、その後の展開と受容を、作品の読解（日本語訳も一部使用する）を通して考察していく。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国文学史における古典小説に関する理解を深める。
- (2) 作品の比較を通し、自ら考察する力を養い、自らの考えをまとめ、表現できるようにする。
- (3) 中国古典文の読解力の向上。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 中国古典小説について
- 第2回 王昭君故事の読解
- 第3回 敦煌変文について
- 第4回 「王昭君変文」読解（1）
- 第5回 「王昭君変文」読解（2）
- 第6回 王昭君を主人公とする演劇作品（1）
- 第7回 王昭君を主人公とする演劇作品（2）
- 第8回 唐代伝奇について
- 第9回 唐代伝奇「杜子春」読解（1）
- 第10回 唐代伝奇「杜子春」読解（2）
- 第11回 唐代伝奇「杜子春」読解（3）
- 第12回 短編白話小説「杜子春三入長安」読解（1）
- 第13回 短編白話小説「杜子春三入長安」読解（2）
- 第14回 日中比較 芥川竜之介の作品との比較
- 第15回 全体のまとめ 中国古典小説の発展と受容から見えるもの

6. 成績評価方法：

- 授業への取り組み（50％）
- 発表（資料作成を含む）（50％）

7. 教科書および参考書：

プリントを配布。

参考書は授業中に紹介する。

8. 授業時間外学習：

- 配布資料には事前に目を通しておくこと。
- 作品読解では、出席者が読解する回を設けます。

9. その他：なし

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6, **単位数：**2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB62402, **科目ナンバリング：**LHM-LIT303J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

『韓詩外伝』を読む

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Han Shi Wai Zhuan

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国文言文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】漢代に編纂された故事説話集の一つである『韓詩外伝』を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国文言文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『韓詩外伝』について(1)
3. 『韓詩外伝』について(2)
4. 『韓詩外伝』の解説(1)
5. 『韓詩外伝』の解説(2)
6. 『韓詩外伝』の解説(3)
7. 『韓詩外伝』の解説(4)
8. 『韓詩外伝』の解説(5)
9. 『韓詩外伝』の解説(6)
10. 『韓詩外伝』の解説(7)
11. 『韓詩外伝』の解説(8)
12. 『韓詩外伝』の解説(9)
13. 『韓詩外伝』の解説(10)
14. 『韓詩外伝』の解説(11)
15. まとめ

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中(5), 単位数：2

担当教員：上原 究一 (非常勤講師)

講義コード：LB98807, **科目ナンバリング：**LHM-LIT303J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

漢籍書誌学入門

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Bibliography

3. 授業の目的と概要：

漢籍についての基本的な知識は、前近代の中国について研究する上では、どのような方面からの研究においても必要となるものです。本講義では、モノとしての書物をどのように記録するかについての学問である書誌学の手法によって、漢籍についての基本的な知識を習得し、併せてモノとしての漢籍の取り扱い方について学びます。

4. 学習の到達目標：

(1) 漢籍書誌学の基礎を習得し、各項目を記録することの意義を理解した上で、自分で漢籍の原本調査をして書誌データを記録できる(カードを採れる)ようになる。

(2) 文学・哲学・歴史学その他様々な方面からの中国学研究に、漢籍書誌学がどのように関わるかを学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 漢籍書誌学とは

第2回 漢籍書誌学の基本用語

第3回 鈔刻(刊写)の種別

第4回 刊・印・修の区別

第5回 書誌データの見方と採り方(1)

第6回 書誌データの見方と採り方(2)

第7回 書誌データの見方と採り方(3)

第8回 書誌データ作成実習(1)

第9回 書誌データ作成実習(2)

第10回 書誌データ作成実習(3)

第11回 書誌データ作成実習(4)

第12回 和刻本と朝鮮刻本

第13回 デジタル化時代の漢籍書誌学

第14回 漢籍書誌学と出版文化研究(1)

第15回 漢籍書誌学と出版文化研究(2)

6. 成績評価方法：

授業への参加状況(50%)

レポート(50%)

7. 教科書および参考書：

(教科書)

授業中にプリントを配布する。

(参考書)

京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター『漢籍目録 カード作成要領』(朋友書店、2009年)

堀川貴司『書誌学入門——古典籍を見る・知る・読む』(勉誠出版、2010年)

8. 授業時間外学習：

書誌データ作成実習では、受講者一人一人に東北大学附属図書館の所蔵する漢籍のうちどれか1点の原本を閲覧しながら書誌データを作成して頂く予定です。開講1ヶ月前までに書誌データを採りたい本(関心のある本)を各自で選んで、別途指定する方法で連絡して下さい。連絡がない場合はこちらで対象の本を指定します。

9. その他：なし・必須ではありませんが、受講者各自がネット接続可能なパソコンやタブレット端末などを持参して頂けると便利です。

・書誌データ作成実習の日には、鉛筆を持参して下さい(ボールペンや万年筆のようなインクを使うものはもちろん、シャープペンシルも不可)。

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 3 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB53308, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得することを目的とします。授業は、発表と質疑応答によって進めます。

今学期は、『三国志演義』とこれに関連する作品を取り上げます。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

7. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習をしてください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：なし

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LB55205, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 3 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB63304, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得します。授業は、発表と質疑応答によってすすめます。今学期は、『水滸伝』とこれに関連する作品を取り上げます。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料の作成も含む）：50%

7. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。Textbooks are handed out at the beginning of the course.

参考文献は授業中に指示。References books will be designated at every class.

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習してください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：なし

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（准教授）

講義コード：LB65202, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：なし